



国際航空便の乗客審査に関するアドバイス

遅れを最小限にし、セキュリティ審査をスムーズに通過するにはどうしたらいいですか。

遅れを回避するために、空港に到着する前に液体、エアゾールおよびジェルを荷物に詰めておく必要があります。機内に持ち込む容器の大きさを100ミリリットル以内にし、すべての容器を透明で再封可能なビニール袋に入れてください。密封された部分の周囲の長さの合計は、80cmを超えてはなりません(例、20x20cmまたは15x25cm)。

審査地点を通過するとき、何をする必要がありますか。

規制に従っていることを確認するために、液体、エアゾールおよびジェルを目に見えるようにしておく必要があります。100ミリリットルを超える容器に入っている液体、エアゾールおよびジェルをすべて引き渡す必要があります。X線のためにかさばるコートを脱ぐ必要があり、ボディチェックを受けるように求められる場合もあります。

引き渡した品目はどうなりますか。

各審査当局が、引き渡された品目について独自の決定を行いますが、空港の審査当局には、引き渡された品目を保持する義務はありません。空港に行く前に、ある品目を機内に持ち込むことができるかどうか、航空会社に確認することをお勧めします。

ボディチェックをされる理由は何ですか。

袋に詰められていない、または申告されていない液体、エアゾールまたはジェルを運んでいるかどうか確認するために、国際空港のセキュリティ審査地点を通過する際にボディチェックを求められる場合があります。これは、無作為に行われます。

ボディチェックでは何が行われますか。

ボディチェックの対象として選択された人には、セキュリティ審査官がその旨を伝え、ボディチェックを行うための許可を求めます。ボディチェックを拒否すると、飛行機に搭乗することが許可されません。

ボディチェックは立ち入った検査ではなく、通常30秒以上かかりません。ボディチェックは、対象者と同姓のセキュリティ審査官により行われなければなりません。審査官は、身体の上に品目が隠されていないことを確認するために、衣服の外部に手を当てて動かします。審査官が隠されている品目を見つけた場合、その品目を引き渡すように求められます。2度目のボディチェックを受けるように求められる場合もあります。

ボディチェックについて不明な点がある場合は、セキュリティ審査官に説明してもらう必要があります。プライバシーのある部屋でボディチェックを受けられるように要求することもできます。このような場合、1名がボディチェックを行い、もう1名が証人として立ち会うために、2名のセキュリティ審査官が同伴します。

液体、エアゾールまたはジェルを故意に隠そうとした場合、2,200ドルの罰金または2年間の禁固刑、またはその両方が課される場合があります。



身体に医療機器が付随している場合、義務付けられてはいませんが、ボディチェックを受ける前にセキュリティ審査官に知らせることをお勧めします。

無作為のボディチェックとはどういう意味ですか。

セキュリティ審査スタッフは、特定の乗客をボディチェックの対象としていません。セキュリティ審査スタッフは、継続的にボディチェックを行うように指示されています。つまり、ある1名に対するボディチェックが終了したら、その次に目にとまった人を選びます。ボディチェックに選ばれたら、その人だという意味です。ボディチェックに選ばれるのは乗客だけでなく、航空会社の乗組員、政府の職員も無作為に選択されます。

セキュリティ審査官は、無作為にボディチェックの対象となる人を選択するため、審査地点を通過するたびに選択されるわけではありません。このプロセスは、現在審査地点で施行されている、無作為で継続的な爆発物追跡検出プロセスに類似しています。

特定の文化または宗教の旅行者に対する要件

宗教または文化的背景に関係なく、飛行機に搭乗する前に全員に審査が行われなければなりません。オーストラリア政府は、一部の文化では衣服の要素が宗教的慣習に含まれていることを理解しています。審査地点を通過する前に、審査対象として宗教的な品目を取り除くように求められる場合があります。セキュリティ審査をプライバシーのある部屋で、同姓の審査官に実施してもらうように要求できます。

機内に持ち込みできる品目に関して、旅行前に航空会社に確認してください。一部の宗教的な品目は、オーストラリアの法律では禁止品目または武器として見なされる場合があります。手荷物または身体に付けて禁止品目または武器を運んでいる場合、セキュリティ審査官がこの品目をチェックイン荷物に詰めるように手配できる場合もありますが、いつもこのような手配ができるわけではありません。可能な限り、セキュリティ審査地点を通過するために品目を引き渡す必要があります。許可される場合、このような品目をチェックイン荷物に詰めることが最善の方法です。

セキュリティ審査地点で、怒ったり反論したりすることに関する警告 審査地点の通過が許可される品目に関するセキュリティ審査官の決定は、最終です。セキュリティ審査官に反論したり、怒ったりすると、状況が良くなり悪化することになります。攻撃的な発言または行動をすると、飛行機に乗せてもらえない場合があります。

状況によっては、オーストラリア警察によって逮捕・起訴される可能性もあります。有罪宣告を受けた場合には罰則して、多額の罰金、場合によっては拘留、またはその両方が適用されます。航空会社から、利用を拒否される場合もあります。オーストラリア政府は航空安全を深刻に考えており、審査地点で違法な妨害を起こす人は、法律に従って対処されます。

セキュリティ審査官は、旅行者の体験を困難にしたり、不快なものにしようとしているのではありません。セキュリティ審査官の仕事は、オーストラリア政府のセキュリティ要件が満たされ、旅行者全員にとってできる限り安全な空の旅を可能にすることです。